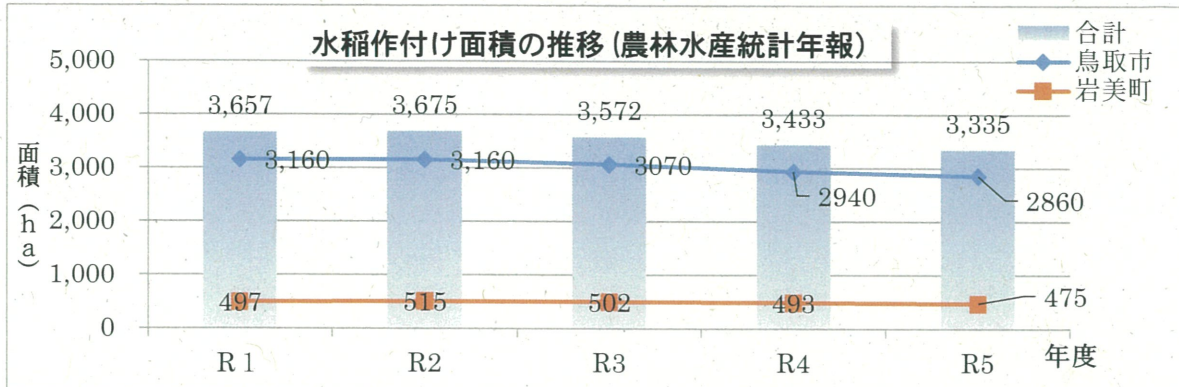


IV 主な農畜産物の生産、販売状況 (※出典記載が無い場合はJA 鳥取いなば調べ)

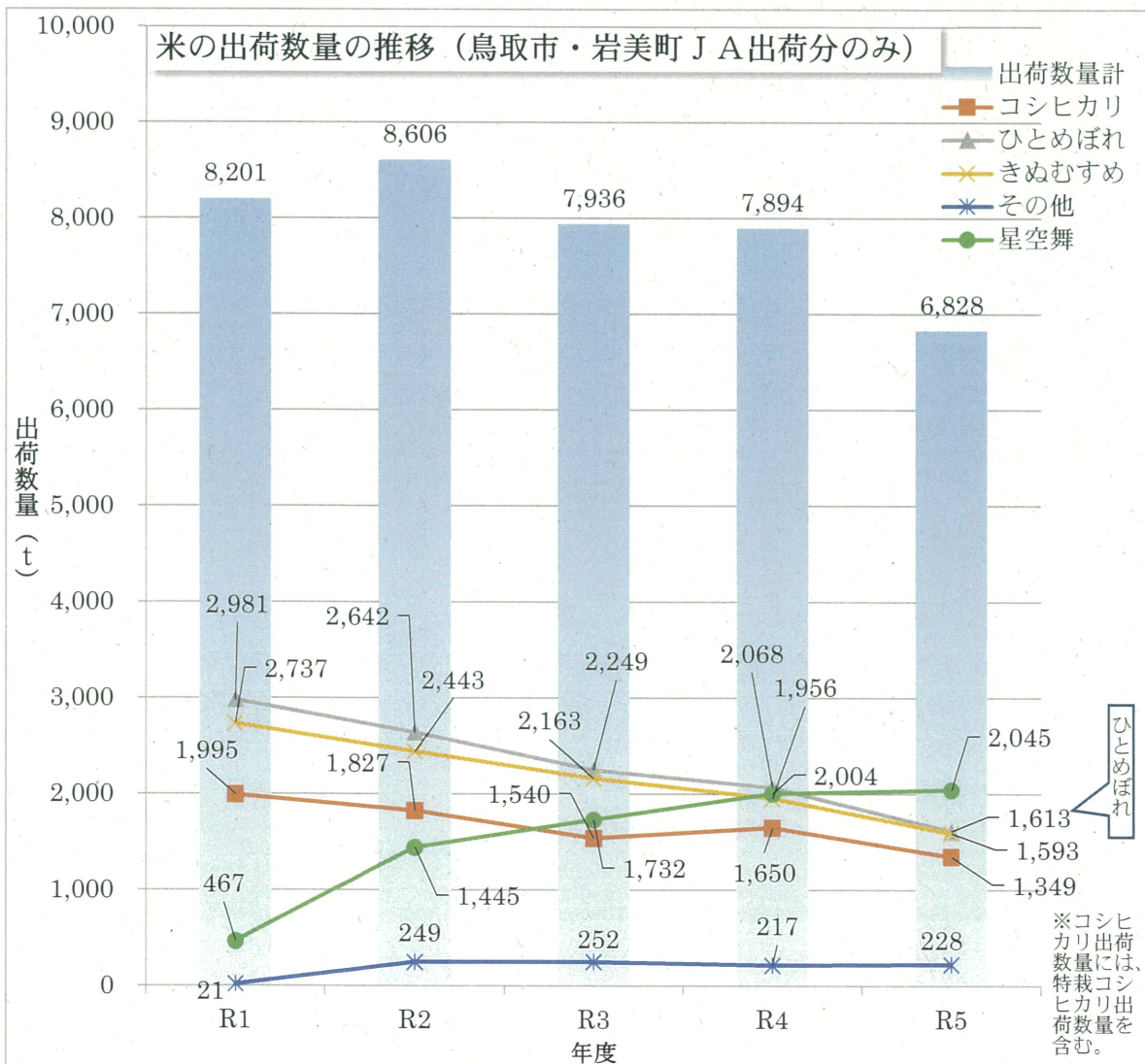
1 水稲

(1) 作付面積

令和5年度作付面積は令和4年度に比べ98ha減少した。



(2) 出荷数量 (JA出荷分のみ)

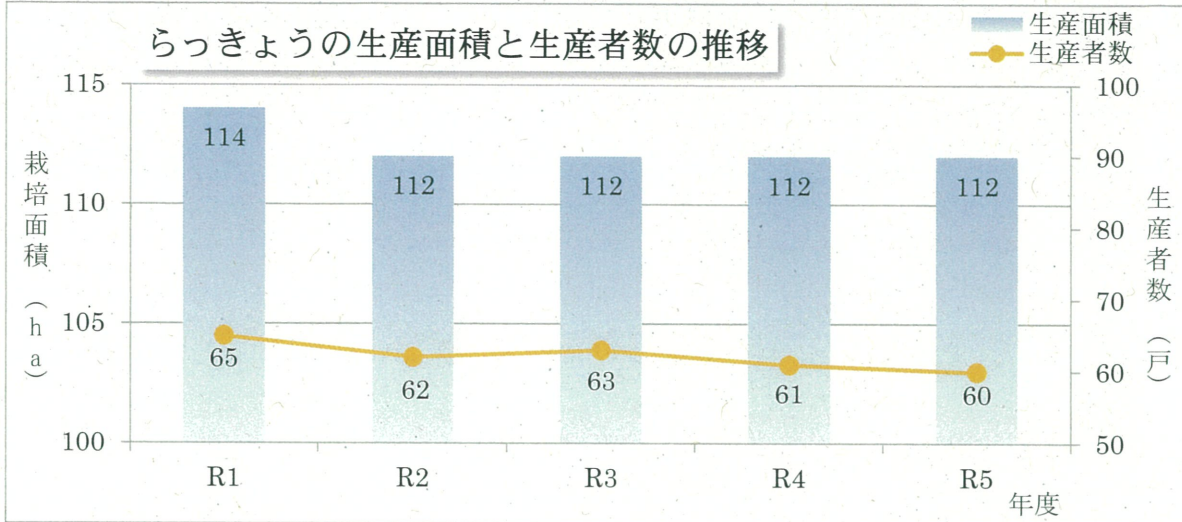


令和5年度は星空舞が41t増加したが、作況指数9.5「やや不良」の影響からそれ以外の主要品種は、減少し、JAへの出荷量は前年より1,066t減少した。

2 らっきょう

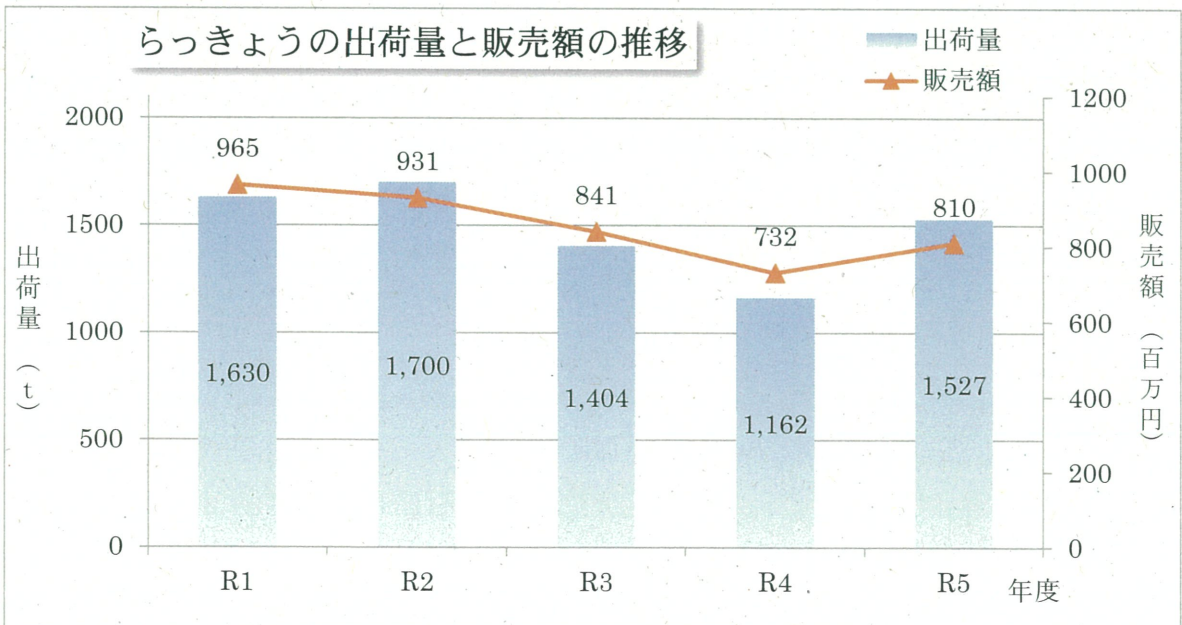
(1) 栽培面積・生産者数

- ①鳥取市福部町で生産されている「砂丘らっきょう」は、県内の面積の約6割を占める。
- ②生産者数は年々減少傾向で、令和5年度の生産者数は10年前より2割以上減少しているが、面積は110ha以上を維持しており、1戸当たりの規模拡大が進んでいる。



(2) 出荷量・販売金額

令和5年産は大玉傾向であったため出荷量は昨年に比べて約31%増の1,527 t、販売額は8億1千万円であった。



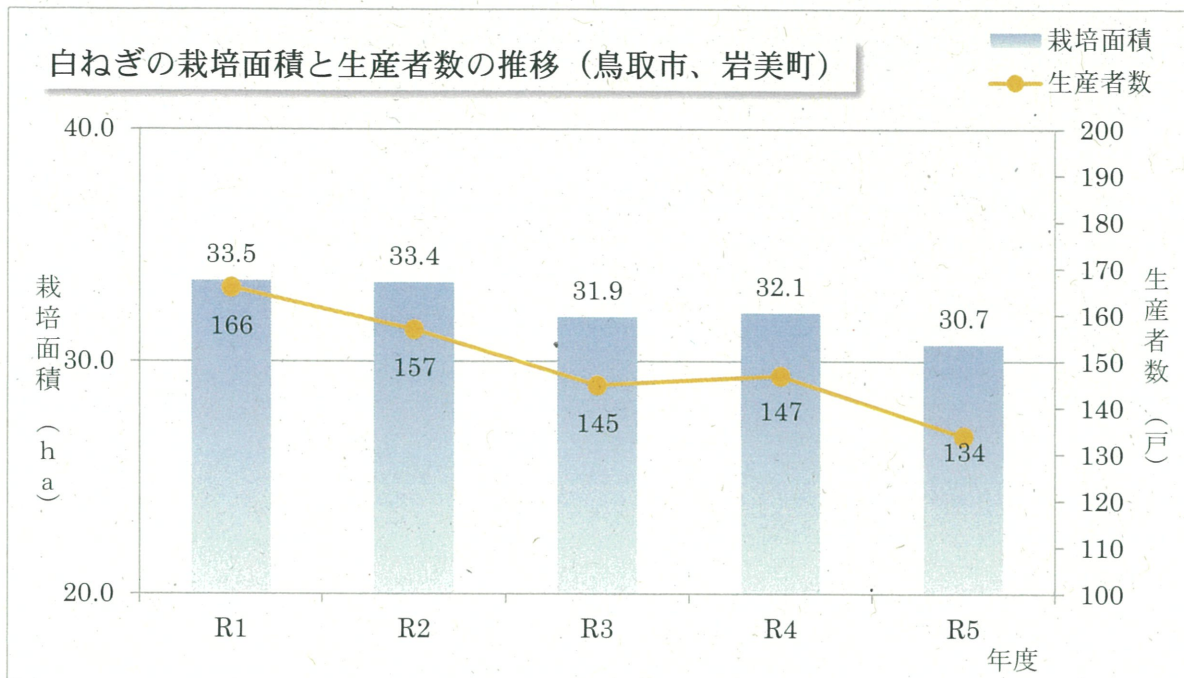
(3) トピックス

平成28年3月に農林水産省から、鳥取市福部町内の鳥取砂丘に隣接した砂丘畑で生産したらっきょうを「鳥取砂丘らっきょう」、「ふくべ砂丘らっきょう」として国内で11件目の地理的表示 (GI) 登録された。また、国の産地パワーアップ事業を活用してらっきょうの加工施設が平成30年2月に竣工した。令和元年度産地消費等優良活動表彰で鳥取いなば農業協同組合福部らっきょう生産組合の活動が生産部門の農林水産大臣賞を受賞した。

3 白ねぎ

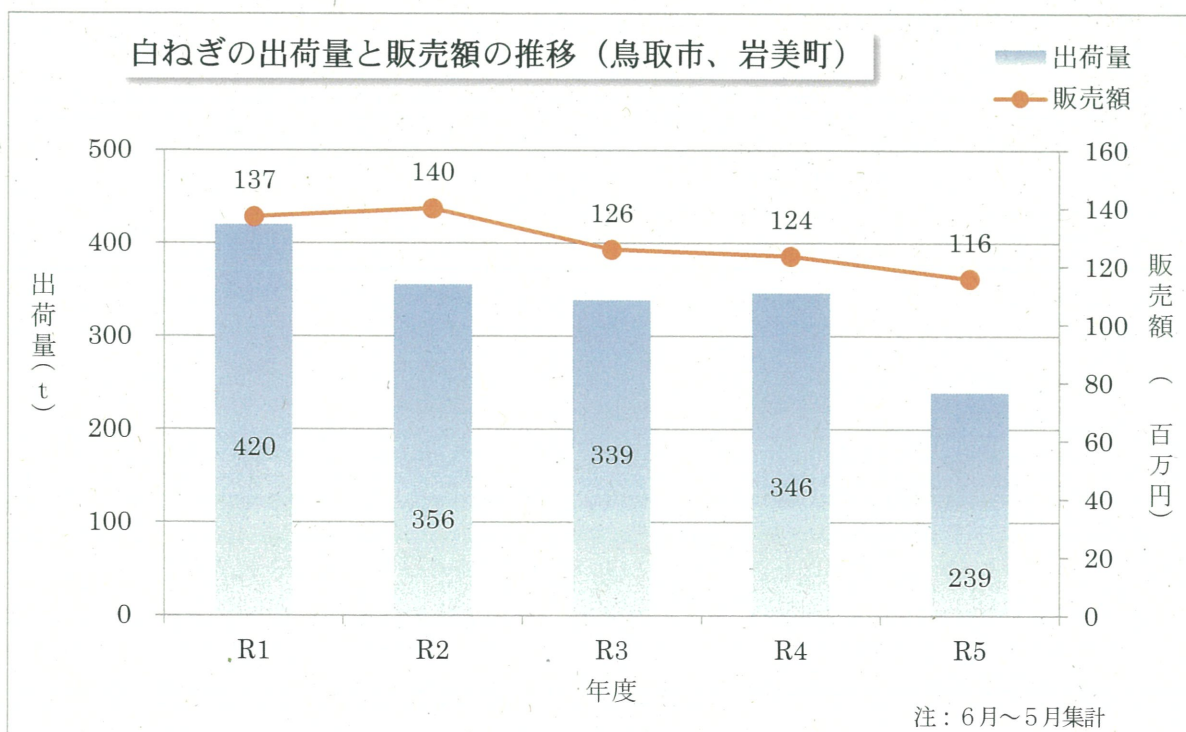
(1) 栽培面積・生産者数

近年、生産者数は減少傾向だが、一戸当たりの規模拡大が進み令和5年度の面積は30.7haであった。



(2) 出荷量・販売金額

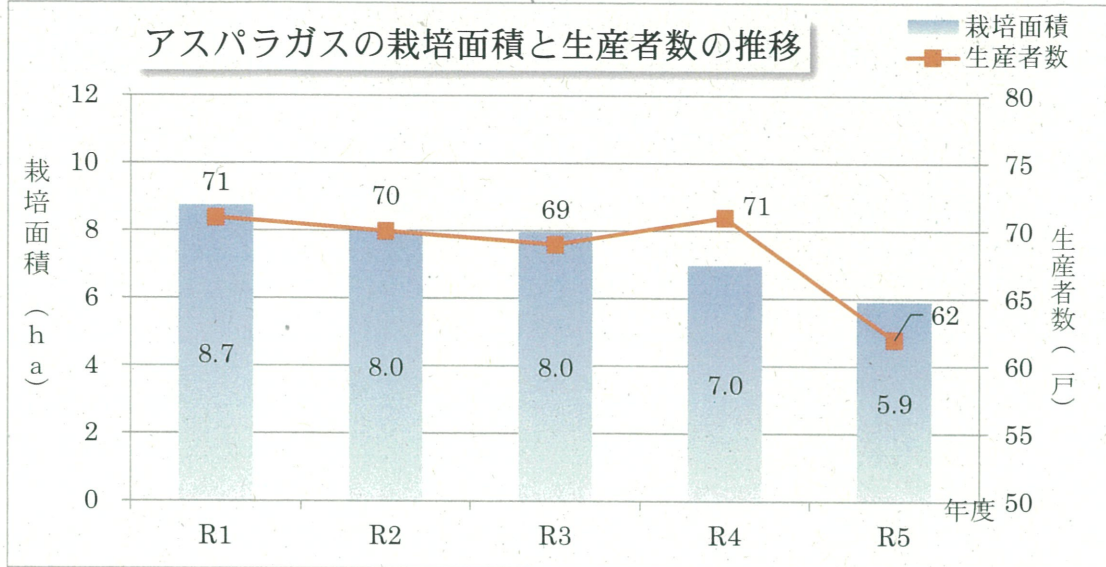
令和5年度の出荷量及び販売額は、前年度より減少し239t、116百万円であった。



4 アスパラガス

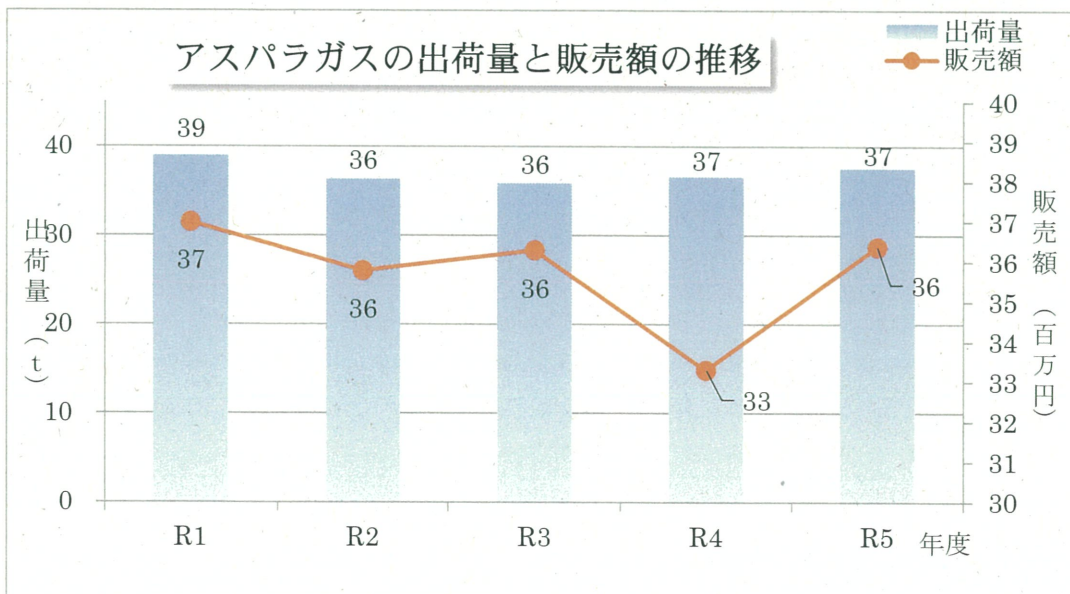
(1) 栽培面積・生産者数（八頭管内含む）

近年は栽培面積及び生産者数ともに維持していたものの、令和5年度は減少し、栽培面積は5.9haであった。



(2) 出荷量・販売金額（八頭管内含む）

栽培面積は減少したものの、単収が向上したことにより、令和5年度の出荷量は37t、販売額は36百万円と昨年度より増加した。



(3) トピックス

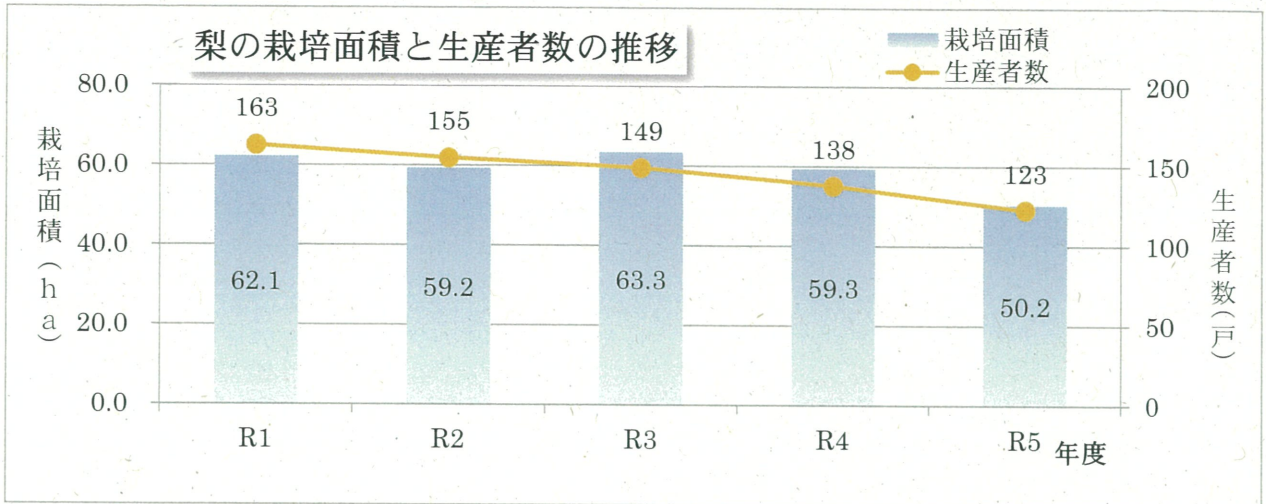
らっきょう、白ねぎに次ぐ特産品としてアスパラガスを育成するため、平成28年2月に「JA鳥取いなばアスパラガス振興プラン」を策定し、JA、市町、県とで連携して生産推進を図っている。

令和元年度から産地パワーアップ事業（鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業）を活用して、2条雨よけハウス導入による産地形成を目指している。

5 梨

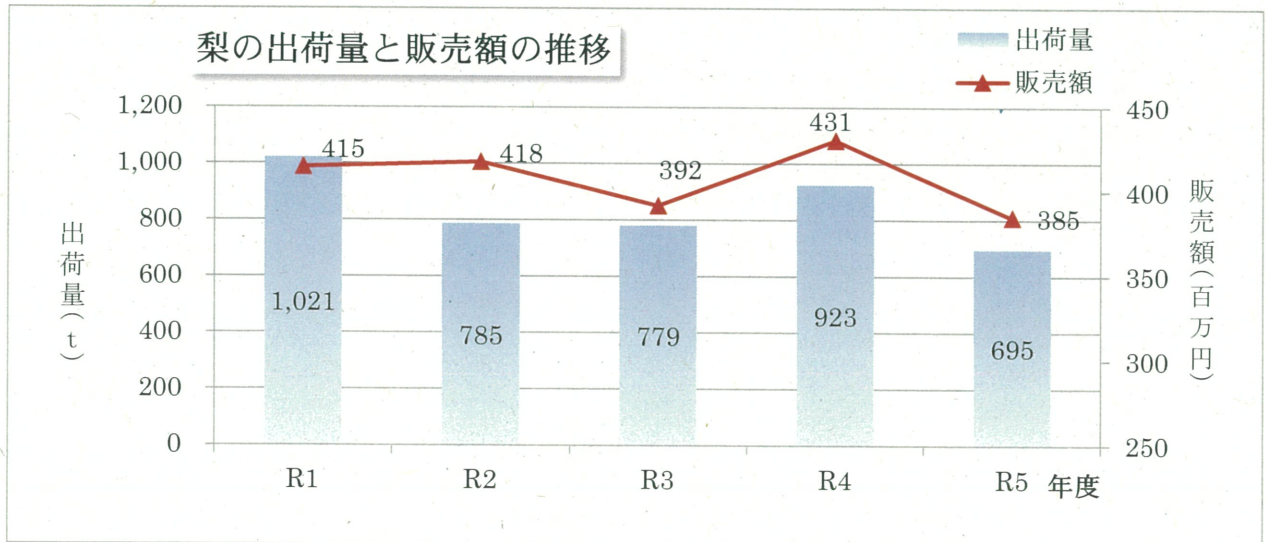
(1) 栽培面積・生産者数（鳥取市、岩美町）

栽培面積は60ha前後を推移していたが、令和5年度は50.2haに減少し、生産者数は前年から15戸減少し123戸となった。



(2) 出荷量・販売金額（鳥取市、岩美町）

豊作であった令和4年度に対し、令和5年度は赤梨を中心に小玉傾向でもあり、出荷量・販売金額ともに減少に転じた。



(3) トピックス

現在、「二十世紀」が主流であるが、「新甘泉」を中心にジョイント栽培等による新品种の導入が進んでいる。

(単位：本)

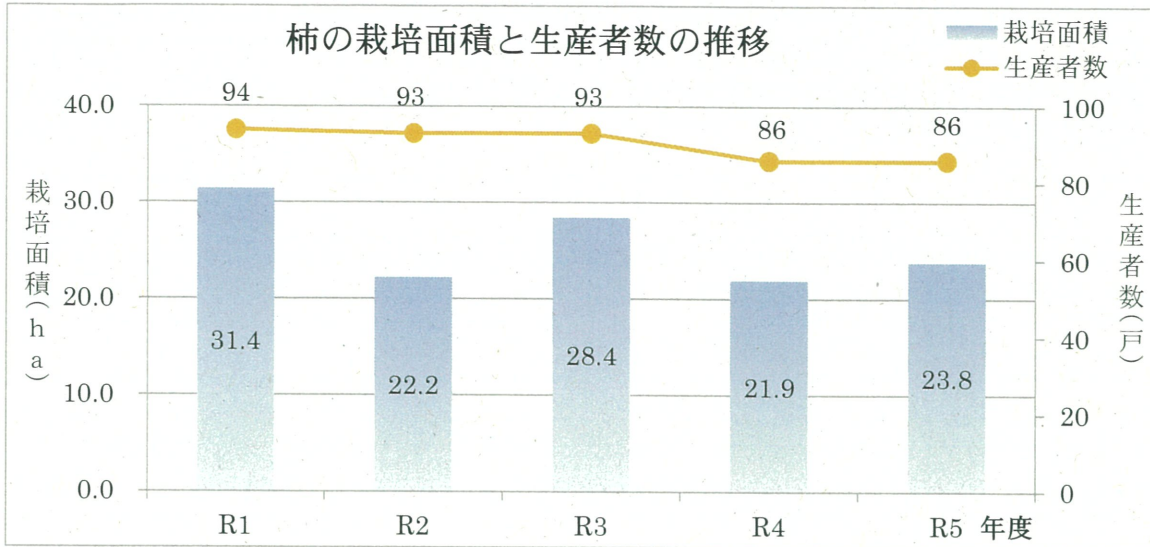
	R1	R2	R3	R4	R5	合計
新品种 苗木本数	447	196	628	390	223	1,884
うち 新甘泉	414	159	594	355	164	1,686

※JA鳥取いなばが管内農家へ配布した本数

6 柿

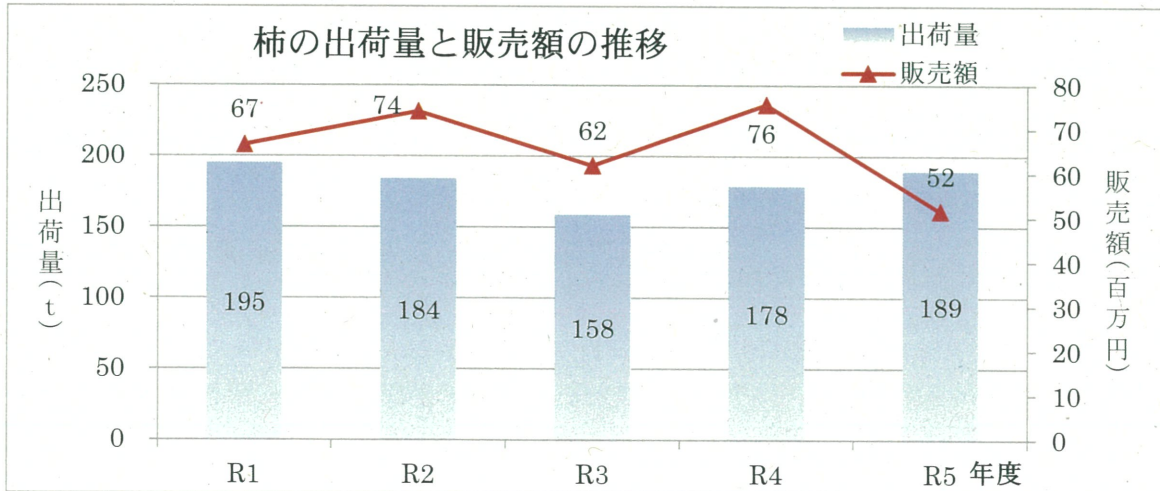
(1) 栽培面積・生産者数

令和5年度の生産者数は前年度と同等であったが、栽培面積は前年比109%とやや増加した。



(2) 出荷量・販売金額

令和5年度は霜害や台風の被害が少なかったことから、出荷量は前年比106%とやや増加したが、販売額は前年比68%と大きく減少した。



(3) トピックス

現在、「富有」、「西条」が中心であるが、収量、品質、販売単価の高い新品種「輝太郎」の植栽を進めている。

	R1	R2	R3	R4	R5	合計
輝太郎 苗木本数 (本)	382	273	259	219	229	1,362

※JA鳥取いなばが管内農家へ配布した本数